

第52回「感性研究フォーラム」講演会

感性と商品化

主催：繊維学会研究委員会「感性研究フォーラム」

協賛：一般財団法人日本繊維製品消費科学会、一般社団法人日本色彩学会、一般社団法人色材協会、
一般社団法人日本家政学会

日時：2020年12月12日（土）13:00～15:20

開催方法：ZOOM を利用してのリモート講演

プログラム：

13:00 開会

13:05 開会挨拶

神戸松蔭女子学院大学 徳山孝子
(研究委員会「感性研究フォーラム」委員長)

13:10～14:10 コミュニケーションⅠ（講演）

『匂いの特性と製品に与える価値について』

立命館大学 食マネジメント学部 教授 國枝里美

匂いは表現の統一が難しく、一般的には掴みどころのないもののように考えられている。しかし、その一方で、食品や香粧品において、匂いはその製品の特徴と価値を示すための重要な役割を担うものでもある。そこで、人の感覚や生理反応からみる匂いの特性を紹介し、フレーバーとフレグランスの役割の違いと匂いが製品に付与する価値について考察する。

14:10～14:25 質疑応答（フリーディスカッション）

14:25～14:30 休憩

14:30～15:00 コミュニケーションⅡ（講演）

『ふきとり時の触感が優れたふきとり化粧水の感性評価』

株式会社ナリス化粧品 研究開発部 浅井健史

近年、日本のモノづくり産業のキーワードとして「感性」という言葉が認知され、実際に「感性」をモノづくりの尺度として応用した例が数多く報告されています。そこで、我々は真にユーザーの「感性」に訴える化粧品を提供したいと考え、皮膚表面の不要な角層をふきとって取り除く「ふきとり化粧水」への応用を試みました。本講演では、ユーザーの潜在意識に及ぶ心理構造を可視化し、物理計測値と対応させる方法で検討した、感性評価に基づくふきとり化粧水の処方設計手法について報告します。

15:00～15:15 質疑応答（フリーディスカッション）

15:20 閉会

定員：50名

参加費：無料

申込方法：2020年11月10日受付開始します。

申込は、2020年11月末日までに参加申込してください。

12月に入りましたら順次、ZOOMのIDとパスワードをお知らせします。

E-mail：KANSEIFORUM@gmail.com 件名に「第52回 感性研究フォーラム参加申込」、

本文に「氏名、所属」をご記入の上、送信して下さい。

問合せ先：〒141-0021 東京都品川区上大崎3-3-9-208

一般社団法人繊維学会(内) 感性研究フォーラム事務局

TEL:03-3441-5627 FAX:03-3441-3260 E-mail: KANSEIFORUM@gmail.com